

教科名	理科	単位数	1（2年間で計3）	単位
科目名	物理基礎	対象学年・科	4年全 （化学基礎との選択）	組
教科担任	太田 清和			
教科書 副教材等	改訂 新編 物理基礎（物基312） 東京書籍			

指導目標	<p>物理の基本法則を学び、自然現象の中にある規則性を理解させる。そのために必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、以下を基本方針とする。</p> <p>① 3学年で学習した項目に引き続き、教科書の例題や練習問題を生徒が自力で解けるようにさせ、3学年4学年を通じて教科書の全項目を学習する。</p> <p>② 学習に際し生徒自身が学習内容を理解し確認できるようノートを作成させる。</p> <p>③ 学習内容と生徒自身の身近な現象を関連付け、より物理学に対する興味を引き出すように工夫する。</p>
------	--

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	10	仕事およびエネルギーの表し方 （3学年時学習内容の確認） 1章 熱 2章 波 上記項目を理解させる。
	二 学 期	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	15	2章 波（音、光） 3章 電気 上記項目を理解させる。
	三 学 期	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	10	4章 エネルギー 上記項目を理解させる。
評価の観点 ・方法	<p>以下を基本方針とし、総合的に評価する。</p> <p>① 定期考査（80%）、出席状況・ノート点（20%）を目安とする。</p> <p>② 考査の難易度は、指導目標①と同程度とし、自分で作成したノートの込みを可とする。</p> <p>③ 評定平均が3～3.5以上（絶対評価）を目安とし、きめ細かい指導を実現する。</p>			

